

終業式などを終えて下校する児童たち。18日には新学期が始まる＝31日午前11時半ごろ、若狭町三宅小学校(塚本剛史撮影)



短い夏休み、生活工夫して

県内で終業式や全校集会

お盆明け授業再開

県内10市町の公立小中学校とほとんどの県立学校で31日、1学期の終業式や夏休み前の全校集会などが行われた。新型コロナウイルスの影響で、本年度の夏休みは大幅に短縮。子どもたちは担任教諭らから感染防止の注意点を聞き、短い夏休みをどう充実させるか思い描いていた。

3学期制の若狭町三宅小は全児童89人が終業式に臨み、塚本嘉夫校長が「新型コロナウイルスに気を付けて健康で楽しい夏休みにしましょう」と話した。同校の夏休みは17日までで日数は例年の半分以下。宿題の量も半分以下に減らし、家庭訪問や登校日はなくなっ

た。

各教室では担任教諭が「午後6時までに帰宅する」「3密を避けて遊ぶ」などを守るよう呼び掛けた。6年生の森下咲来さんは「友だちと外で遊ぶようにしたい。宿題が少ないので進んで自主学习もするつもり」と話していた。

この日終業式や全校集会が行われたのは、福井市や敦賀市、おおい町などの小中学校と県立33校。ほかの7市町の小中学校や私立中高なども8日までに順次夏休みに入り、いずれも17、24日に授業を再開する。夏休みが最も短いのは越前市の小中、一部私立校の9日間。

(北川龍次、牧野将寛)